



平木啓子さん、大空の接戦を制す 第2回FAI パラグライディング XC アジア・オセアニア選手権

韓国のムンギョンにて行われたパラグライダーの世界大会において、ソラトピアパラグライダーズスクール(石岡市小屋)の職員・平木啓子さんが優勝しました。大会期間中は荒れたコンディションになることも多くありましたが、平木さんは安定した高いパフォーマンスを発揮し、女子優勝、総合でも10位という快挙を成し遂げました。平木さんは帰国後「石岡市はパラグライディングにとっても適した環境。より多くの人に魅力を知ってほしい」とお話してくれました。



▲①表彰式での平木さん(表彰台中央)
②競技中の平木さん



▲大会にて競技に臨む消防団員。

地域を守るため日夜、研鑽を積む 第19回石岡市消防団 消防ポンプ操法競技大会

消防団は、郷土愛護の精神に基づいて参加し、地域住民を守るために昼夜を問わず消防活動に従事しています。7月7日に行われたこの大会では、迅速、確実かつ安全に行動するために定められた消防用機械器具の取り扱いおよび操作の基本について技術を競いました。ポンプ車操法の部では、7つの分団が参加し、第2分団(府中地区)が、小型ポンプ操法の部では2つの分団が参加し、第19分団(瓦谷地区)が優勝しました。

新規就農してから12年… 県が認定する「農業経営士」 に福田佑子さんが新規認定！

地域農業の担い手として優れた取り組み・経営感覚などを兼ね備える農業者を県が認定する農業経営士として、石岡市では福田佑子さんが新たに認定を受けられ、7月10日、田所副市長を表敬訪問しました。福田さんは、JA やさとが運営する新規就農研修施設「ゆめファームやさと」での2年間の研修を経て平成24年4月に独立。現在はご家族や外国人研修生とともに、有機野菜を栽培されているほか、地域の方々と共同で子ども支援活動にも取り組まれています。



▲(写真左より) 福田佑子さん、田所副市長



青空の下でプレイボール!! 東京都文京区と石岡市の 学童野球チームが交流試合

7月20日、東京都文京区の学童野球チーム「リトルモンキーズ」の選手と保護者が当市を訪れ、市内の学童野球チーム「園部サーベルタイガース」と交流試合を行いました。文京区と石岡市は、江戸時代から歴史的にも深いつながりがあり、平成8年に災害時相互応援協定を締結しています。リトルモンキーズのキャプテン・古川^{こがわはやて}颯くん（6年生）は、石岡市を訪れた感想として「自然が多くて野球場が広い。のびのびとプレーできるのが楽しみ」と話してくれました。



▲（左）園部サーベルタイガースの選手
（右）リトルモンキーズの選手



▲プロスケーターたちはセクションエリアで次々と技術を披露し、技が決まると観客から大きな拍手が送られました。

駅に隣接 大人も子どもも楽しめる 石岡スケートボードパークが オープン！

7月21日、晴れ渡る青空の下、石岡スケートボードパークがオープンしました。オープン当日は、プロスケーターによる滑走のデモンストレーションやダンスの披露、スケートボード教室などのイベントが行われ、にぎやかに供用を開始しました。

石岡スケートボードパークはスケートボードエリアと公園遊具エリアを兼ね備えた施設であり、県内にあるスケートボードができる公園の中では、駅から最も近い施設となっています。

地域の皆さんの力で6年ぶりに復活！ 三村のおまつり （三村須賀神社祇園祭）

三村須賀神社祇園祭は、元亀元（1570）年に三村城主 平常春が伝染病の流行による住民の苦しみを憂い、神社を創建して祭礼を執り行ったことが起源です。新型コロナウイルス感染症の流行や担い手の減少により、平成30年を最後に中断していましたが、地域の伝統を子どもたちに伝えたいと考える皆さんの尽力により、6年ぶりに行われました。担ぎ手による神輿の披露が行われると、各地区では歓声があがり、地元が熱気に包まれた一日でした。



▲羽成子^{はなご}では軽快かつ流麗な三村囃子が披露され、おまつりに彩りを添えました。